

# こころ合わせて

平成30年6月号 発行者：校長

## 仲間とこころ合わせた学校生活を過ごしてほしい

4月の入学式で、生徒たちに「城東中でより多くの仲間と活動すること、団結することの楽しさを十分に味わってほしい。」と伝えました。

今の社会は、多様な価値観やそれぞれの個性が認められつつある一方、個々での生活が多くなり、人々の結びつきが弱くなっています。そして、そのことに起因する様々な問題が起こっています。多様な価値観を認めつつ集団で行動できるといいなと痛感しています。

人は本来、それぞれの個性や立場の違いを乗り越え、協力し合うことに生きがいややりがいを感じると思います。城東中の生徒たちが、日々の学校生活、学校行事、生徒会活動、部活動等を通して、『こころ合わせること』の素晴らしさを実感してほしいです。

## 3年生、仲間と楽しい修学旅行に行ってきました

6月5日～7日、2泊3日で奈良・京都へ3年生が修学旅行に行ってきました。

年度当初から、様々な事前学習や準備をしてきました。2年生の東京校外学習は、3年生の修学旅行の事前学習でもありました。生徒全員が楽しい修学旅行にするために、決まりやマナーを学び、班づくり、班ごとの見学コースの検討等、互いに意見を出し合い互いを尊重しながら決めてきました。

事前学習や事前準備の甲斐あって、全員が無事楽しい修学旅行ができました。全員にとって仲間との一緒の思い出ができたと思います。

これからの学校生活も互いを認め合い協力できる毎日となるよう期待しています。

## 1年生、仲間と心と力を合わせた林間学校に行ってきました

6月13日～15日、1年生が2泊3日で赤城の東毛林間学校に行ってきました。

1年生は入学してからまだ2ヶ月ほどしか経ちませんが、この林間学校で城東中1年生という仲間づくりをしてきました。文字通り『仲間と寝食をともにする』ことにより、また、カッター訓練やキャンプファイヤーでは、個々人だけでは味わえない喜びを満喫したと思います。

この喜びが城東中での毎日の生活に大きく反映されます。毎日の学習に生かされるはずです。1年生の顔つきが中学生らしくなってきたと感じるのは私だけではないと思います。

## 中学校は自ら進んで勉強するところ

入学式で、もう一つ伝えたことがあります。それは、「中学校は、自ら進んで勉強するところ」ということです。（生徒のみなさん、覚えてますか！）

中学校では勉強する内容も広がり、程度も高くなります。授業をただ聞いていれば分かる内容ではありません。生徒たちが、教師とともに毎日の授業を作り上げる、自ら進んで作ることが重要です。『勉強も団体戦』です。

そして、家庭では宿題だけでなく自主的な予習も復習も必要です。毎日毎日の積み重ねが必要です。そして、その成果は、進路決定の時に現れます。

## 自転車による交通事故とネット機器（スマホ等）の乱用が心配

生徒たちの日常の危険性を考えたとき、自転車による交通事故が極めて危険です。生命の危機、将来への危機を感じます。また、スマートフォン等の使いすぎによる身体への悪影響、勉強時間や睡眠時間や家族のコミュニケーションの減少、SNS上でのトラブル、個人情報漏洩、人権感覚の荒廃、等々の弊害があります。

この両方の問題について、ルールやマナーや危険性が理解できない生徒は、利用してはいけません。城東中でも繰り返し指導していますが、ご家庭でも折に触れご指導お願いいたします。